

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0501007

政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 北海道エキノコックス症対策実施要領
基本施策	6 保健・医療の充実	事業優先度	B	
単位施策	2 成人保健の充実	政策事務分類	4 法定自治事務	
事業名	エキノコックス症検診	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	5 保健福祉課	
事業主体	雄武町	関係課	14 国保病院	
事業指標	検診受診率		#N/A	
事業目標	30%	ハード/ソフト事業区分	2 ソフト事業	
住民参加 住民協働	2	関係例規・法令名	2 ⇒	
		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	平成23年度 事業内容	平成24年度 事業内容
計 画 内 容	北海道地方特有の感染症として検診による早期発見治療、感染予防に対する知識の普及を図る。	エキノコックス症検診 感染予防に対する知識の普及	エキノコックス症検診 感染予防に対する知識の普及	エキノコックス症検診 感染予防に対する知識の普及	エキノコックス症検診 感染予防に対する知識の普及	エキノコックス症検診 感染予防に対する知識の普及
計 画 事 業 費	事業費(千円)	1,360	272	272	272	272
財 源 内 訳	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	1,360	272	272	272	272
実 績 事 業 費	事業費(千円)	1,027	218	149	280	256
財 源 内 訳	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	1,027	218	149	280	256
関 連 事 項	(特定財源の詳細等) 【評価・実績】	(実施内容等) エキノコックス症検診 集団検診10回 185名 個別検診 58名 計243名 受診率 24.9% ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) エキノコックス症検診 集団検診8回 108名 個別検診 29名 計137名 受診率 14.5% ※前年度評価結果 B-継続/現状維持	(実施内容等) エキノコックス症検診 集団検診8回 139名 個別検診 113名 計252名 受診率 27.3% ※前年度評価結果 B-継続/現状維持	(実施内容等) エキノコックス症検診 集団検診8回 122名 個別検診 113名 計235名 受診率 26.0% ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) エキノコックス症検診 集団検診 7回 81名 個別検診 31名 計112名 受診率 12.7% ※前年度評価結果 A-継続/現状維持
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値 受診率30%	年度達成率 80%	年度達成率 55%	年度達成率 103%	年度達成率 94%
		全体達成率 16%	全体達成率 27%	全体達成率 48%	全体達成率 66%	全体達成率 76%
		事業進捗状況 ☆☆☆	事業進捗状況 ☆☆	事業進捗状況 ☆☆☆	事業進捗状況 ☆☆☆	事業進捗状況 ☆☆

事業名	エキノコックス症検診	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	山崎 佳之
		評価者 作成者 職氏名	保健係長	佐々木 希美枝

平成24年度実施
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	小学3年生以上の町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	エキノコックス症検診受診率の向上	
【抱える課題やニーズは】	エキノコックス症に感染する危険性がある	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	エキノコックス症に感染を早期に発見し、適切に対応できる	① 検診受診率	目標年度	平成24年度
			目標値	26%
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	エキノコックス症を早期に治療することで健康的な生活を送ることができる	②	実績値	12.7%
			達成度	48.8%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	検診の実施	特定健診等と同時にエキノコックス症検診(血液検査)を実施し、二次検査対象となった方へは北海道が実施する二次検診の受診勧奨、受診に向けた調整等の保健指導を実施した。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	北海道エキノコックス対象実施要領に基づき、市町村に検診実施の義務がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	設定した目標値の達成状況	検診は5年毎に対象となるため、事業実施年度により受診者数・受診率の増減がみられるため、本年度においては目標を下回る結果となった。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	下回る
	<input type="checkbox"/>	達成
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	特定健診、医療機関における個別検診と同時に実施することで作業を軽減し、効率的に実施することができた。また、医療機関の協力により職場検診受診者への受診勧奨を実施することで効率性を高めることができた。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制
	<input checked="" type="checkbox"/>	人員削減
	<input checked="" type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減
	<input type="checkbox"/>	その他

(4)事務事業の公平性

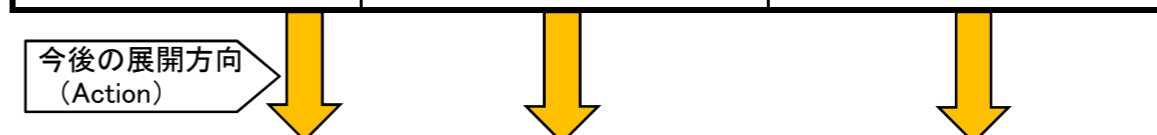
公平	判断の理由	受益者負担はないが、広報折込チラシ、町内公共施設等へのポスター掲示等により、広く町民へ周知した。また、集団検診と医療機関における個別検診の機会を提供することで公平性を保つことができた。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B	B	
他機関との連携等により効率的に事業を進めることができたが、目標値には達しなかった。	同左	



継続/現状維持	継続/現状維持	
現在の事業実施方法の中で受診者数を増加できるような工夫を図りながら事業を継続する。	同左	

※展開方向の区分
 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 ○終了 ○休止 ○廃止